

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	北海道情報大学
設置者名	学校法人 電子開発学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経営情報学部	先端経営学科	夜・通信		48	44	92	13	
	システム情報学科	夜・通信			68	116	13	
医療情報学部	医療情報学科	夜・通信		48	85	133	13	
	医療情報専攻 臨床工学専攻	夜・通信			76	124	13	
情報メディア学部	情報メディア学科	夜・通信		48	116	164	13	
通信教育部 経営情報学部	先端経営学科	夜・通信		10	14	24	13	
	システム情報学科	夜・通信			22	32	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>対象科目一覧表を本学ホームページの情報公開ページで学科別に閲覧可能としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先端経営学科・システム情報学科： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/work-experience_business_2025.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/work-experience_business_2025.pdf</a></li> <li>・医療情報学科： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/work-experience_medical_2025.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/work-experience_medical_2025.pdf</a></li> <li>・情報メディア学科： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/work-experience_media_2025.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/work-experience_media_2025.pdf</a></li> </ul>
--

・通信教育部先端経営学科：  
[https://www.do-johodai.ac.jp/\\_cmswp/wp-content/uploads/distance\\_learning\\_business\\_and\\_information\\_system2025.pdf](https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/distance_learning_business_and_information_system2025.pdf)

・通信教育部システム情報学科：  
[https://www.do-johodai.ac.jp/\\_cmswp/wp-content/uploads/distance\\_learning\\_system\\_and\\_information2025.pdf](https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/distance_learning_system_and_information2025.pdf)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道情報大学
設置者名	学校法人 電子開発学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにおいて公開 <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 HBA 代表取締役会長	R6.4.1～R7 年度の定時 評議員会の 終結の時	法人経営
非常勤	社会福祉法人 北海道友 愛福社会 法人業務執行 理事	R6.4.1～R7 年度の定時 評議員会の 終結の時	地域貢献
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道情報大学
設置者名	学校法人 電子開発学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>講義概要(シラバス)は以下の内容により科目担当教員が作成し、科目担当者以外による内容確認後、通学課程では4月上旬から、通信教育部では2月中旬から学生には学習ポータルサイト、一般にはホームページで公表している。</p> <p>【経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部】</p> <p>「ナンバリングコード」、「アクティブ・ラーニング」、「授業概要」、「授業における学修の到達目標」、「授業計画(回数 授業、事前・事後学習)」、「成績評価の方法およびその基準」、「課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法」、「教科書」、「参考書・Webサイト」、「単位習得が望ましい科目」、「担当教員の実務経験」</p> <p>【通信教育部 経営情報学部】</p> <p>「ナンバリングコード」、「授業範囲」、「試験期間」、「試験範囲」、「科目の概要」、「科目における学習の到達目標」、「講義の方針・計画」、「準備学習(予習・復習)」、「成績評価の方法およびその基準」、「課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法」、「教科書」、「参考書・参考Webサイト」、「関連授業科目」、「担当教員の実務経験」</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにおいて公開</p> <p>【経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部】</p> <p><a href="https://syllabus.do-johodai.ac.jp/">https://syllabus.do-johodai.ac.jp/</a></p> <p>【通信教育部 経営情報学部】</p> <p><a href="https://tsushin.do-johodai.ac.jp/department/syllabus.php">https://tsushin.do-johodai.ac.jp/department/syllabus.php</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

**【経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部】**

講義概要（シラバス）の「成績評価の方法およびその基準」に記載されている方法及び割合に基づき評価を行っている。評価方法としては、試験、小テスト、レポート、演習課題などがある。

**【通信教育部 経営情報学部】**

講義概要（シラバス）の「成績評価の方法およびその基準」に記載のとおり、一部の科目を除き、科目試験の点数により評価を行っている。

なお、科目試験の受験資格及び採点条件を授業形態別に以下の通り定めている。

<印刷授業>

1科目につき1回以上のレポートを課しており、レポート合格を科目試験の採点要件としている。

<面接授業>

短期集中で実施するため、原則、すべての授業を受講していることを科目試験の受験資格としている。

<インターネットメディア授業>

eラーニング授業であり、全単元の3分の2以上の受講を受験資格としている。

また、指定課題の提出が必須の科目もある。

<IPメディア授業>

生放映授業となっており、全単元の3分の2以上の受講を受験資格としている。

また、通信教育部では出席率による学習意欲の把握が困難なため、本学では以下の基準のより“学習意欲のある学生”の判定を行っている。

○前年度の学習状況が、授業形態別に以下の状態である科目の単位数合計が標準単位数以上であること。

①面接授業、インターネットメディア授業、IPメディア授業：受験資格がある

②印刷授業：レポートが提出されている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

**【経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部】**

成績評価基準は以下のとおりとなっており、学生には「履修のガイド」、一般にはホームページで周知している。

<成績評価基準>

点数	評価	GP	
100～90	秀	4	合格
89～80	優	3	合格
79～70	良	2	合格
69～60	可	1	合格
59～0	不可	0	不合格

GPAの基準は以下のとおりとしており、学生には「履修のガイド」で周知している。

<学期別 GPA>

(科目の履修単位数 × 科目の GP) の累計

-----  
当該学期の履修登録単位数の総和

<年度別 GPA>

(科目の履修単位数 × 科目の GP) の累計

-----  
当該年度の履修登録単位数の総和 - 再履修で合格した科目の年度内の不可の単位数

<現在 GPA>

(科目の履修単位数 × 科目の GP) の累計

-----  
履修登録単位数の総和 - 再履修で合格した科目のこれまでの不可の単位数

また、GPAの分布について、「学科別学期別 GPA 分布表」を学生向け教務 Web システムで公開しており、学生が学科学年の中でどの位置にいるかを把握することができる。

**【通信教育部 経営情報学部】**

成績評価基準は以下のとおりとなっており、学生には「学生便覧」、一般にホームページで周知している。

<成績評価基準>

点数	評価	GP	
100～90	秀	4	合格
89～80	優	3	合格
79～70	良	2	合格
69～60	可	1	合格
59～0	不可	0	不合格

GPAの基準は以下のとおりとしており、学生に「学生便覧」で周知している。

(科目単位数 × 科目 GP) の累計

-----  
受験科目総単位数

また、GPAの分布について、「年度別 GPA 分布表」を作成し、学生が学科学年の中でどの位置にいるかを把握することができる。

<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにおいて公開  <b>【経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部】</b>  <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/%E6%88%90%E7%B8%BE%E8%A9%95%E4%BE%A1.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/%E6%88%90%E7%B8%BE%E8%A9%95%E4%BE%A1.pdf</a>  <b>【通信教育部 経営情報学部】</b>  <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/common2022/img/pdf/distancelearning_evaluation_2019.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/common2022/img/pdf/distancelearning_evaluation_2019.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

北海道情報大学における卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は「通学課程」、「大学院」、「通信教育課程」及び「各学部」、「各学科」ごとに定めており、ホームページで周知している。

また、卒業判定については、成績評価基準により認定された単位修得状況に基づき、学部教授会で判定を行っている。

「通学課程全体」、「各学部」卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と各学科の卒業要件を以下に記す。なお、「各学科」の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は全学科共通で「育成すべき人材像」及び「学位授与の方針」を記載している。

**【通学課程全体】**

主体性を持った高度ITプロフェッショナルの育成を目標として、以下のコンピテンシー（知識・スキル・心構え）を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に対して学位を授与します。

- ①生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力
- ②IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識
- ③国際感覚やモラルなど豊かな人間性
- ④コミュニケーションとプレゼンテーション能力
- ⑤自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力
- ⑥知識のみではなく生きるための知恵

**【経営情報学部】**

本学部では、社会や企業を動かす情報システムの企画・構築・運用に必要なとされる情報処理の専門知識と高度な技術及びデジタルビジネス時代における経営に関する専門知識と高度な技能を修得し、同時に、幅広い教養・感受性・モラル・コミュニケーション能力を備えた、高い志を有する人材に学位を授与します。

<先端経営学科卒業要件>

履修科目	修得単位
① 教養教育科目	次の要件を満たし、計 25 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 17 単位を修得
② 専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位を修得 ・必修科目 24 単位を修得 ・選択科目 54 単位を修得
③ 教養教育科目及び専門教育科目	①、②の合計 103 単位に加え、選択科目 21 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる

**【卒業の要件】**

上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること

<システム情報学科卒業要件>

履修科目	修得単位
① 教養教育科目	次の要件を満たし、計 21 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人

		間、社会、自然、総合について ・必修科目 19 単位を修得
②	専門教育科目	次の要件を満たし、計 82 単位を修得 ・必修科目 32 単位を修得
③	教養教育科目 及び専門教育 科目	①、②の合計 103 単位に加え、選択科目 21 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		

#### 【医療情報学部】

情報化社会の中で正確に情報を見極める基礎能力を養い、国際的な視野と見識をもった人材を涵養するとともに、専門性の高い医学・医療情報の知識、実践的な高度情報処理や生命維持管理に関する技術を修得し、社会においても活躍できる人材に学位を授与します。

<医療情報学科卒業要件>

##### ○医療情報専攻

履修科目	修得単位
① 教養教育科目	次の要件を満たし、計 25 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 15 単位を修得
② 専門教育科目	次の要件を満たし、計 77 単位を修得 ・必修科目 34 単位を修得 ・選択科目 43 単位を修得
③ 教養教育科目 及び専門教育 科目	①、②の合計 102 単位に加え、選択科目 22 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること	

##### ○臨床工学専攻

履修科目	修得単位
① 教養教育科目	次の要件を満たし、計 18 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 8 単位を修得 ・選択科目 10 単位以上修得
② 専門教育科目	次の要件を満たし、計 72 単位以上を修得 ・必修科目 26 単位を修得 ・選択科目 46 単位以上を修得
③ 教養教育科目 及び専門教育 科目	①、②の合計 90 単位に加え、選択科目 34 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる
【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること	

**【情報メディア学部】**

幅広い教養や豊かな感受性、モラルやコミュニケーション能力を備え、情報メディアに関する高度な情報技術と専門知識を基盤に、主体性をもって、情報社会の発展に貢献できるデジタルコンテンツのクリエイターや ICT（情報通信技術）のエンジニアとしてのコンピテンシーを身につけた学生に学位を授与します。

＜情報メディア学科卒業要件＞

履修科目		修得単位
①	教養教育科目	・必修科目 23 単位を修得
②	専門教育科目	・必修科目 12 単位を修得
③	教養教育科目及び専門教育科目	①、②の合計 35 単位に加え、選択科目 89 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、20 単位まで選択科目の単位数に算入することができる

**【卒業の要件】**

上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること

**【通信教育部経営情報学部】**

本学部では、社会や企業を動かす情報システムの企画・構築・運用に必要とされる情報処理の専門知識と高度な技術及びデジタルビジネス時代における経営に関する専門知識と高度な技能を修得し、同時に、幅広い教養・感受性・モラル・コミュニケーション能力を備えた、高い志を有する人材に学位を授与します。

＜先端経営学科卒業要件＞

履修科目		修得単位
①	教養教育科目	教養科目
		外国語科目
②	専門教育科目	基礎
		応用
		発展

全科目区分より合計 124 単位以上  
(面接授業単位 30 単位以上)  
※必修科目はありません

**【卒業の要件】**

上記①～②の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること

＜システム情報学科卒業要件＞

履修科目		修得単位
①	教養教育科目	教養科目
		外国語科目
②	専門教育科目	基礎
		応用
		発展

全科目区分より合計 124 単位以上  
(面接授業単位 30 単位以上)  
※必修科目はありません

**【卒業の要件】**

上記①～②の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること

＜システム情報学科情報数理専攻卒業要件＞

履修科目		修得単位
①	教養教育科目	教養科目
		外国語科目
②	専門教育科目	基礎
		応用

次の要件を満たし、全科目区分より合計 124 単位以上  
・必修科目 30 単位を修得  
・選択必修科目 4 科目中 6 単位以上修得

	発展	(面接授業単位 30 単位以上)
<b>【卒業の要件】</b> 上記①～②の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにおいて公開 <b>【経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部】</b> <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/#hiu-cur">https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/#hiu-cur</a> <b>【通信教育部 経営情報学部】</b> <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/#tk-dip">https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/#tk-dip</a>	

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	北海道情報大学
設置者名	学校法人 電子開発学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/</a>
財産目録	<a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/</a>
事業報告書	<a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/edc-outline/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:第3期中期目標・中期計画・2025年度計画 対象年度:2025年度)
公表方法:大学ホームページ <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation.php">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation.php</a>
中長期計画(名称:第3期中期目標・中期計画・2025年度計画 対象年度:2021~2026年度)
公表方法:大学ホームページ <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation.php">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation.php</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:大学ホームページ <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation.php">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation.php</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:大学ホームページ <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation/ninsyouhyouka/">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation/ninsyouhyouka/</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営情報学部																	
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/kyouiku_kitei2024.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/kyouiku_kitei2024.pdf</a> ）																	
<p>(概要)</p> <p>社会や企業を動かす情報システムの企画・構築・運用には、情報の技術のみならず、経営分野の知識・技能が必要とされている。そのような必要性に応えるため、情報処理の知識・技術を核として、専門領域（経営、システム）に関わる実践的な力を備え、同時に、幅広い教養・感受性・モラル・コミュニケーション能力を備えた人材を育成するための教育・研究を推進する。</p>																	
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/management-dp190319.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/management-dp190319.pdf</a> ）																	
<p>(概要)</p> <p>本学部では、社会や企業を動かす情報システムの企画・構築・運用に必要とされる情報処理の専門知識と高度な技術及びデジタルビジネス時代における経営に関する専門知識と高度な技能を修得し、同時に、幅広い教養・感受性・モラル・コミュニケーション能力を備えた、高い志を有する人材に学位を授与します。</p> <p>&lt;先端経営学科卒業要件&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>履修科目</th> <th>修得単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>② 教養教育科目</td> <td>次の要件を満たし、計 25 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 17 単位を修得</td> </tr> <tr> <td>② 専門教育科目</td> <td>次の要件を満たし、計 78 単位を修得 ・必修科目 24 単位を修得 ・選択科目 54 単位を修得</td> </tr> <tr> <td>③ 教養教育科目及び専門教育科目</td> <td>①、②の合計 103 単位に加え、選択科目 21 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる</td> </tr> </tbody> </table> <p>【卒業の要件】 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること</p> <p>&lt;システム情報学科卒業要件&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>履修科目</th> <th>修得単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④ 教養教育科目</td> <td>次の要件を満たし、計 21 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 19 単位を修得</td> </tr> <tr> <td>⑤ 専門教育科目</td> <td>次の要件を満たし、計 82 単位を修得 ・必修科目 32 単位を修得</td> </tr> <tr> <td>③ 教養教育科目及び専門教育科目</td> <td>①、②の合計 103 単位に加え、選択科目 21 単位以上を修得</td> </tr> </tbody> </table>		履修科目	修得単位	② 教養教育科目	次の要件を満たし、計 25 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 17 単位を修得	② 専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位を修得 ・必修科目 24 単位を修得 ・選択科目 54 単位を修得	③ 教養教育科目及び専門教育科目	①、②の合計 103 単位に加え、選択科目 21 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる	履修科目	修得単位	④ 教養教育科目	次の要件を満たし、計 21 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 19 単位を修得	⑤ 専門教育科目	次の要件を満たし、計 82 単位を修得 ・必修科目 32 単位を修得	③ 教養教育科目及び専門教育科目	①、②の合計 103 単位に加え、選択科目 21 単位以上を修得
履修科目	修得単位																
② 教養教育科目	次の要件を満たし、計 25 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 17 単位を修得																
② 専門教育科目	次の要件を満たし、計 78 単位を修得 ・必修科目 24 単位を修得 ・選択科目 54 単位を修得																
③ 教養教育科目及び専門教育科目	①、②の合計 103 単位に加え、選択科目 21 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる																
履修科目	修得単位																
④ 教養教育科目	次の要件を満たし、計 21 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 19 単位を修得																
⑤ 専門教育科目	次の要件を満たし、計 82 単位を修得 ・必修科目 32 単位を修得																
③ 教養教育科目及び専門教育科目	①、②の合計 103 単位に加え、選択科目 21 単位以上を修得																

	科目	※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる
<b>【卒業の要件】</b> 上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること		
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/11_2024management-cp.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/11_2024management-cp.pdf</a> ）		
(概要) 企業等の組織が抱える課題を把握・分析する上で必要な情報を的確に収集・処理し、いかに解決に結びつけるかを追究する、比較的新しい学際的な分野である経営情報学の真髄を修得するために、教養教育科目と、専門科目としての経営学系科目及び情報学系科目によってカリキュラムを編成し、専門科目の多くを先端経営とシステム情報の両学科共通に履修可能な科目として配置します。また、両学科ともに少人数のゼミナール・プロジェクト形式の科目を少なからず配置し、コミュニケーション力を伸ばすこと、並びに個性と能力に応じてスキルアップと研究活動に取り組むことを支援する教育を行います。		
入学者の受入れに関する方針（公表方法： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/">https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/</a> ）		
(概要) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力や思考力等が身に付いていて、デジタルビジネスを始めとする経営や情報システムの分野に関心がある学生を求めており、本学入学後の学びや諸活動を通して、自ら問題を見出し追求していく姿勢や、自身を向上させようとする意欲があり、情報システムの開発や運用あるいは ICT（情報通信技術）を利活用した経営のための基本的な能力を身に付けられる学生を求めています。		
学部等名 医療情報学部		
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/kyouiku_kitei2024.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/kyouiku_kitei2024.pdf</a> ）		
(概要) 幅広い教養、専門性の高い医学・医療情報の知識、実践的な高度情報処理や生命維持管理に関する技術を身に付けるための教育訓練プログラムを通し、医療分野における専門職業人としての技術を身に付けるだけでなく、主体的な行動力・判断力・思考能力を養うための教育・研究を推進する。		
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/05_2024medicalinfo-dp.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/05_2024medicalinfo-dp.pdf</a> ）		

(概要)

情報化社会の中で正確に情報を見極める基礎能力を養い、国際的な視野と見識をもった人材を涵養するとともに、専門性の高い医学・医療情報の知識、実践的な高度情報処理や生命維持管理に関する技術を修得し、社会においても活躍できる人材に学位を授与します。

<医療情報学科卒業要件>

○医療情報専攻

履修科目	修得単位
① 教養教育科目	次の要件を満たし、計 25 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 15 単位を修得
② 専門教育科目	次の要件を満たし、計 77 単位を修得 ・必修科目 34 単位を修得 ・選択科目 43 単位を修得
⑥ 教養教育科目及び専門教育科目	①、②の合計 102 単位に加え、選択科目 22 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる

【卒業の要件】

上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること

○臨床工学専攻

履修科目	修得単位
② 教養教育科目	次の要件を満たし、計 18 単位を修得 教養基礎、外国語、情報とクリティカルシンキング、人間、社会、自然、総合について ・必修科目 8 単位を修得 ・選択科目 10 単位以上修得
② 専門教育科目	次の要件を満たし、計 72 単位以上を修得 ・必修科目 26 単位を修得 ・選択科目 46 単位以上を修得
③ 教養教育科目及び専門教育科目	①、②の合計 90 単位に加え、選択科目 34 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、8 単位まで選択科目の単位数に算入することができる

【卒業の要件】

上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：[https://www.dohohodai.ac.jp/\\_cmswp/wp-content/uploads/14\\_2024medicalinfo-cp.pdf](https://www.dohohodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/14_2024medicalinfo-cp.pdf)）

(概要)

医療情報学科には、将来、社会に出てからの方向性を考慮して、医療事務、診療情報管理、医療情報技術、食を中心とした健康科学などを主体とする医療情報専攻と、臨床工学技士養成を主体とする臨床工学専攻の 2 つの専攻を設定し、それぞれの専攻に設定されたコンピテンシーの達成に向けたカリキュラムを構築します。

また、教育目的の一つである自ら主体的に学ぶ力を身に付ける方策としてアクティブ・ラーニングを積極的に導入し、「医療系科目」と「情報系科目」をバランス良く取り入れたカリキュラムを構築します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/>）

（概要）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、思考力、主体的に学修に取り組む意欲・態度・志が身に付いていて、医療の専門分野に関心がある学生を求めており、本学入学後の学びや諸活動を通して、自らを向上させようとする意欲や教養、感受性、モラル、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力等が身に付けられる学生を求めています。

学部等名 情報メディア学部

教育研究上の目的（公表方法：[https://www.do-johodai.ac.jp/\\_cmswp/wp-content/uploads/kyouiku\\_kitei2024.pdf](https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/kyouiku_kitei2024.pdf)）

（概要）

多種多様なデジタルコンテンツの作成と情報通信技術（ICT）は、現代の重要なインフラであるネットワークに必要とされる技術である。幅広い教養を備え、これらの技術を使いこなし主体的に活躍出来るクリエイターやエンジニアの育成をするための教育・研究を推進する。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：[https://www.do-johodai.ac.jp/\\_cmswp/wp-content/uploads/07\\_2024infomedia-dp.pdf](https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/07_2024infomedia-dp.pdf)）

（概要）

幅広い教養や豊かな感受性、モラルやコミュニケーション能力を備え、情報メディアに関する高度な情報技術と専門知識を基盤に、主体性をもって、情報社会の発展に貢献できるデジタルコンテンツのクリエイターや ICT（情報通信技術）のエンジニアとしてのコンピテンシーを身につけた学生に学位を授与します。

【情報メディア学部】

幅広い教養や豊かな感受性、モラルやコミュニケーション能力を備え、情報メディアに関する高度な情報技術と専門知識を基盤に、主体性をもって、情報社会の発展に貢献できるデジタルコンテンツのクリエイターや ICT（情報通信技術）のエンジニアとしてのコンピテンシーを身につけた学生に学位を授与します。

<情報メディア学科卒業要件>

履修科目	修得単位
② 教養教育科目	・必修科目 23 単位を修得
② 専門教育科目	・必修科目 12 単位を修得
③ 教養教育科目及び専門教育科目	①、②の合計 35 単位に加え、選択科目 89 単位以上を修得 ※他学部、他学科科目の単位数は、20 単位まで選択科目の単位数に算入することができる

【卒業の要件】

上記①～③の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：[https://www.do-johodai.ac.jp/\\_cmswp/wp-content/uploads/16\\_2024infomedia-cp.pdf](https://www.do-johodai.ac.jp/_cmswp/wp-content/uploads/16_2024infomedia-cp.pdf)）

<p>(概要)</p> <p>デジタルコンテンツのクリエイターや ICT のエンジニアに必要な情報技術と専門知識をコンピテンシーとして設定し、その達成に向けた科目群を提供するとともに、その内容や難易度にもとづいたナンバリングによって体系的にカリキュラムを編成します。</p> <p>また、デザイン専攻とテクノロジー専攻の2専攻を設定しつつも、専攻にかかわらずなく学べる科目体系を実現することで、テクノロジーを理解できるデザイン指向の人材、デザインを理解できるテクノロジー指向の人材を育成できるようカリキュラムを編成します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：<a href="https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/">https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/</a>）</p>
<p>(概要)</p> <p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、思考力、主体的に学ぶ意欲等を身に付け、デザインとテクノロジーの専門分野に関心がある学生を求めています。また、本学入学後の学びや諸活動を通して、自らを向上させようとする意欲や教養、感受性、モラル、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力等が身に付く学生を求めています。</p>

<p>学部等名 通信教育部（経営情報学部）</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/common2022/img/pdf/jinzai2021.pdf">https://www.do-johodai.ac.jp/common2022/img/pdf/jinzai2021.pdf</a>）</p>
<p>(概要)</p> <p>教育研究上の目的は、「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を明確にし、体系的な教育課程を提供すること」を目的とし、全学部・学科（通学課程及び通信教育課程併せて）の内容を一つの規程「北海道情報大学における教育研究上の目的に関する規程」として制定し、その内容をホームページで公開している。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：<a href="https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/#tk-dip">https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/#tk-dip</a>）</p>

(概要)

北海道情報大学における卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は「通学課程」、「大学院」、「通信教育課程」及び「各学部」、「各学科」ごとに定めており、ホームページで周知している。

また、卒業判定については、成績評価基準により認定された単位修得状況に基づき、学部教授会で判定を行っている。

「通学課程全体」、「各学部」の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と各学科の卒業要件を以下に記す。なお、「各学科」の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は全学科共通で「育成すべき人材像」及び「学位授与の方針」を記載している。

【通信教育部経営情報学部】

本学部では、社会や企業を動かす情報システムの企画・構築・運用に必要とされる情報処理の専門知識と高度な技術及びデジタルビジネス時代における経営に関する専門知識と高度な技能を修得し、同時に、幅広い教養・感受性・モラル・コミュニケーション能力を備えた、高い志を有する人材に学位を授与します。

<先端経営学科卒業要件>

履修科目			修得単位
①	教養教育科目	教養科目	全科目区分より合計 124 単位以上 (面接授業単位 30 単位以上)
		外国語科目	
②	専門教育科目	基礎	※必修科目はありません
		応用	
		発展	
<b>【卒業の要件】</b> 上記①～②の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること			

<システム情報学科卒業要件>

履修科目			修得単位
①	教養教育科目	教養科目	全科目区分より合計 124 単位以上 (面接授業単位 30 単位以上)
		外国語科目	
②	専門教育科目	基礎	※必修科目はありません
		応用	
		発展	
<b>【卒業の要件】</b> 上記①～②の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること			

<システム情報学科情報数理専攻卒業要件>

履修科目			修得単位
①	教養教育科目	教養科目	次の要件を満たし、全科目区分より合計 124 単位以上
		外国語科目	
②	専門教育科目	基礎	・必修科目 30 単位を修得 ・選択必修科目 4 科目中 6 単位以上修得 (面接授業単位 30 単位以上)
		応用	
		発展	
<b>【卒業の要件】</b> 上記①～②の要件をすべて満たし、合計 124 単位以上を修得していること			

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

<https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/#tk-dip>

(概要)

北海道情報大学通信教育部は、「経営情報学」という新しい学問的視座のもとに、「経営」と「情報」の両分野にわたる複合的アプローチを展開します。「先端経営学科」、「システム情報学科」の2学科を有し、個人の目的や目標に合わせて、基礎から専門内容まで学べます。また、各学科・専攻の内容に合わせた教職課程を設置し、教員免許状の取得を可能とします。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.do-johodai.ac.jp/education/3policy/#tk-dip>）

(概要)

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや社会人としての活動で得た基礎学力、基礎知識、及び思考力を身に付け、本学の通信教育部経営情報学部に興味・関心を持った学生を求めています。

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ

<https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation.php>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
経営情報学部	—	12人	6人	3人	0人	0人	21人
医療情報学部	—	8人	5人	4人	0人	0人	17人
情報メディア学部		15人	13人	5人	0人	0人	33人
通信教育部 経営情報学部		3人	1人	4人	0人	0人	8人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		79人					81人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：大学ホームページ <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/teachers/">https://www.do-johodai.ac.jp/teachers/</a>					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営情報学部	120人	145人	120.8%	500人	546人	109.2%	20人	0人
医療情報学部	80人	23人	28.8%	320人	210人	65.6%	—人	—人
情報メディア 学部	220人	208人	94.5%	900人	913人	101.4%	20人	0人
合計	420人	376人	89.5%	1,720人	1,669人	97.0%	40人	0人
(備考)								

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
通信教育部 経営情報学部	900人	690人	76.7%	4,200人	3,178人	75.7%	0人	84人
合計	900人	690人	76.7%	4,200人	3,178人	75.7%	0人	84人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営情報学部	134人 (100%)	2人 (1.5%)	120人 (89.5%)	12人 (9.0%)
医療情報学部	56人 (100%)	3人 (5.4%)	47人 (83.9%)	6人 (10.7%)
情報メディア学部	217人 (100%)	8人 (3.7%)	180人 (82.9%)	29人 (13.4%)
通信教育部 経営情報学部	511人 (100%)	3人 (0.6%)	489人 (95.7%)	19人 (3.7%)
合計	918人 (100%)	16人 (1.7%)	836人 (91.1%)	66人 (7.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>講義概要(シラバス)は以下の内容により科目担当教員が作成し、科目担当者以外による内容確認後、通学課程では4月上旬、通信教育部では2月中旬から学生には学習ポータルサイト、一般にはホームページで公表している。</p> <p>【経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部】 「ナンバリングコード」、「アクティブ・ラーニング」、「授業概要」、「授業における学修の到達目標」、「授業計画(回数 授業、事前・事後学習)」、「成績評価の方法およびその基準」、「課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法」、「教科書」、「参考書・webサイト」、「単位習得が望ましい科目」、「担当教員の実務経験」</p> <p>【通信教育部 経営情報学部】</p>
--

「ナンバリングコード」、「授業範囲」、「試験期間」、「試験範囲」、「科目の概要」、「科目における学習の到達目標」、「講義の方針・計画」、「準備学習（予習・復習）」、「成績評価の方法およびその基準」、「課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法」、「教科書」、「参考書・参考 Web サイト」、「関連授業科目」、「担当教員の実務経験」

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

【経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部】

講義概要（シラバス）の「成績評価の方法およびその基準」に記載されている方法及び割合に基づき評価を行っている。評価方法としては、試験、小テスト、レポート、演習課題などがある。

【通信教育部 経営情報学部】

講義概要（シラバス）の「成績評価の方法およびその基準」に記載のとおり、一部の科目を除き、科目試験の点数により評価を行っている。

なお、科目試験の受験資格及び採点条件を授業形態別に以下の通り定めている。

<印刷授業>

1科目につき1回以上のレポートを課しており、レポート合格を科目試験の採点要件としている。

<面接授業>

短期集中で実施するため、原則、すべての授業を受講していることを科目試験の受験資格としている。

<インターネットメディア授業>

eラーニング授業であり、全単元の3分の2以上の受講を受験資格としている。

また、指定課題の提出が必須の科目もある。

<IPメディア授業>

生放映授業となっており、全単元の3分の2以上の受講を受験資格としている。

また、通信教育部では出席率による学習意欲の把握が困難なため、本学では以下の基準のより“学習意欲のある学生”の判定を行っている。

○前年度の学習状況が、授業形態別に以下の状態である科目の単位数合計が標準単位数以上であること。

①面接授業、インターネットメディア授業、IPメディア授業：受験資格がある

②印刷授業：レポートが提出されている。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営情報学部	先端経営学科	124 単位	有・無	44 単位
	システム情報学科	124 単位	有・無	44 単位
医療情報学部	医療情報学科	124 単位	有・無	44 単位
情報メディア学部	情報メディア学科	124 単位	有・無	44 単位
通信教育部 経営情報学部	先端経営学科	124 単位	有・無	50 単位
	システム情報学科	124 単位	有・無	50 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページ

<https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/campusmap.php>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経営情報 学部	先端経営 学科 (2024年 度以前入 学生)	1,010,000円	200,000円	10,000円	大学諸費
	システム 情報学科 (2024年 度以前入 学生)				
	先端経営 学科 (2025年 度入学生)	1,020,000円		0円	
	システム 情報学科 (2025年 度入学生)	1,050,000円		0円	
医療情報 学部	医療情報 学科 (医 療情報専 攻) (2024年 度以前入 学生)	1,070,000円	200,000円	10,000円	大学諸費
	医療情報 学科 (臨 床工学専 攻) (2024年 度以前入 学生)	1,450,000円		10,000円	大学諸費
	医療情報 学科 (医 療情報専 攻) (2025年 度入学生)	1,110,000円		0円	
	医療情報 学科 (臨 床工学専 攻) (2025年 度入学生)	1,490,000円		0円	

情報メディア学部	情報メディア学科 (2024年度以前入学生)	1,050,000円	200,000円	10,000円	大学諸費
	情報メディア学科 (2025年度入学生)	1,120,000円		0円	
通信教育部経営情報学部	先端経営学科(正科生A)	120,000円	30,000円	19,000円	レポート添削料、科目試験料、休学料
	システム情報学科(正科生A)				
	先端経営学科(正科生B)	200,000円	50,000円	187,000円	施設設備費、施設利用料、レポート添削料、科目試験料、休学料
	システム情報学科(正科生B)				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>【経営情報学部、医療情報学部、情報メディア学部】</p> <p>&lt;授業のフォローアップ&gt;</p> <p>学生チュータによる補助的学習支援・学習相談/指導、科目担当教員による補習的学習支援を実施している。</p> <p>&lt;自主学習支援&gt;</p> <p>学内コンテストの実施、教員がテーマを設定した課外ゼミ活動(Jゼミ)を実施している。</p> <p>&lt;資格取得支援&gt;</p> <p>各種資格対策講座(MOS対策講座、情報系資格取得支援室(HIUアカデミー)開室等)の企画運営、資格取得者への受験料補助制度の運用を行っている。</p> <p>【通信教育部 経営情報学部】</p> <p>通信教育部は「修学支援」として以下の内容を行っている。</p> <p>&lt;学習ポータルサイト&gt;</p> <p>通信教育部では、学習ポータルサイトとして「無限大キャンパス」を運営し、学習に必要な以下の機能を提供している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○eラーニング授業の提供</li> <li>○科目試験の実施</li> <li>○学生便覧、講義概要、学習用プリント、レポート課題集、HIU通信(機関誌)等の閲覧・ダウンロード及び各種スケジュールやニュースの表示などの情報提供</li> <li>○履修登録、スクーリング申込み、インターネット授業申込み、科目試験申し込みなどの各種手続</li> <li>○履修状況、各種申込み登録状況、科目試験成績などの学習状況の確認</li> </ul>

<p>&lt;単位の認定&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国家資格等の合格による単位認定 国家試験や各種検定の合格資格をお持ちの方は履修単位として認定します。</li> <li>○放送大学との単位互換 放送大学の指定科目の取得単位は単位互換により本学でも認められます。 正科生が放送大学の「特別聴講学生」となり、本学が指定した放送大学開講科目の単位認定試験に合格することで、本学で修得した卒業必要単位として認定されます。</li> </ul> <p>&lt;施設の利用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本学図書館 蔵書約 14 万冊。自動書庫を備えた最新鋭の図書館を利用できます。スクーリング、科目試験等で本学に来学した際、図書館の図書を借りることができます。</li> <li>○本学図書館の遠隔利用 図書館まで出向かなくても OK！遠隔地への貸出や文献複写にも対応しています。 図書館では、遠隔地の学生に対して、本学所蔵図書の貸出や本学所蔵の文献複写などのサービスを行っています。</li> </ul>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>就職指導では、就職委員会とゼミ担当委員、学生サポートセンター事務室職員が一丸となって学生を支援している。また、就職指導コーナーには、会社案内・求人票などの就職情報を検索できる端末を用意している。</p> <p>3 年生に対しては、就職委員の教員と職員により、学生全員との個人面談を行い、進路に関する確認や相談対応等を行っている。</p> <p>4 年生に対しては、就職未内定者への個人面談の実施や求人情報の提供、就職課窓口での個別対応を行っている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>【保健センター】</p> <p>学生の健康診断／定期健康診断で「再検査」「精密検査」の判定を受けた学生の再検査や保健指導／けがや体調不良時の応急対応（休養のためのベッド設置） こころや体の健康に関する相談・自動身長・体重・体脂肪計、自動血圧計など医療機器による測定／必要に応じ専門相談機関や医療機関の紹介を行っている。</p> <p>【学生相談室】</p> <p>臨床心理士及び本学教員が、学生のような悩み（修学、生活、経済、交友関係、性格、身体的など）を学生と一緒に考え、より良い解決方法を探る手助けを行っている。必要な場合には学内外の関係機関との連携も図る。月曜日・火曜日と木曜日・金曜日の午後は予約制で、カウンセラー（臨床心理士）が相談員として担当する。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：大学ホームページ <a href="https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation.php">https://www.do-johodai.ac.jp/guidance/publicinformation.php</a></p>
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F101310100267
学校名 (〇〇大学 等)	北海道情報大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人電子開発学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		396人（ - ）人	393人（ - ）人	-人（ 11 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	229人	217人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	76人	75人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	54人	52人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	33人	40人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	-人	-人	
区分外（多子世帯）	0人	0人		
家計急変による 支援対象者（年間）				-人（ 0 ）人
合計（年間）				413人（ 11 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	-人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	10人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	23人	人	人
計	42人	人	人
(備考) 廃止判定理由については、1名が複数の要件に重複して該当する場合があるため、廃止判定者数計と、各要件の該当者数の合計値は一致しない。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
3月以上の停学	0人
年間計	-人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	-人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	-人	人	人
GPA等が下位4分の1	37人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	55人	人	人
計	69人	人	人
(備考) 警告判定理由については、1名が複数の要件に重複して該当する場合があるため、警告判定者数計と、各要件の該当者数の合計値は一致しない。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。